

## ごあいさつ

公益財団法人 日本テニス協会  
実業団委員会 委員長

矢 澤 猛



本年もまた、ここ広島広域公園テニスコートにて第33回全国実業団対抗テニストーナメントが開催されます。全国制覇並びに日本リーグ出場権を競う大きな本大会が、広島市での永年に亘る様々なテニス大会開催経験をされている高橋ディレクターをはじめ、地元テニス協会の皆さんのおかげで本大会運営組織も円滑に動き、活気ある充実したイベントに成長してきたことを嬉しく思うと同時に運営各位の皆様にご心から感謝申し上げます。

各地域での予選を見事勝ち抜き、この全国大会にお集まりいただきましたチームの皆様、おめでとうございます。様々な競技でオリンピック出場権を掛けた予選大会が繰り広げられていますが、大会レベルの違いはあっても、気持ち的にはオリンピック出場権を得たのとあまり差は無いように思います。勝ち抜いてきたその努力と成果に対して心から祝意を表すと同時に、本大会に於きましても日頃の練習成果を遺憾なく発揮され、優勝を目指して日本リーグ出場権を獲得できるよう頑張っていたいただきたいと思います。

近年、応援以外の観客数も増えてきておりますので、正々堂々と戦い、観客を魅了させる素晴らしいプレーを見せていただきたいと思います。

毎年書かせていただいておりますように、実業団委員会では長年に亘りフェアプレイ精神についてお話しさせていただいており、更に日本テニス協会としてセルフジャッジ5原則の順守と推進のお願いをしております。また試合開始前の挨拶として、相手に敬意を表し握手を交わすことを推進しております。選手の皆さまはテニスの向上と共にこのフェアプレイ精神を高めていただきたいと思います。最後になりましたが、大変お世話になっております中国テニス協会、広島県テニス協会、広島市テニス協会の皆様にご感謝いたしますと共に、引き続きご協賛頂いておりますヨネックス株式会社様をはじめ、その他大会運営にご尽力頂いております皆様に対しまして心からお礼を申し上げます。